

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	平成23年 7月 20日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 福知山市長田野町3-17	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 京都工場長 山道 修

環境マネジメントシステムの名称	ISO 14001:2004
適用範囲	京都工場
導入年月日	1999年 11月 26日
認証番号	JQA-EM0606
基本方針	①開発から製造・出荷までの生産活動および製品・サービスにおいて、環境影響に配慮します ②CSR活動を推進し、含有化学物質規制など、適用される法規制および、その他の要求事項を守り、汚染の予防を行います・・・他3点（弊社HPに記載）
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境自主管理値の維持（100%達成） ・環境届出の義務（100%達成） ・省エネ活動の推進（2件/各部署以上） ・電力量の削減（前年度比2%減） ・廃棄物処分の適正化（マニフェスト100%回収） ・3Rの推進：廃棄物（異常、不良 50%減）
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境自主管理値の維持・・・社内自主管理値を設定 ・環境届出の義務・・・毎月の使用量の把握 ・省エネ活動の推進・・・各部署毎に活動テーマを決める ・電力量の削減・・・空調機の適正、効率的な生産体制の構築 ・廃棄物処分の適正化・・・廃棄物の分別 ・3Rの推進：廃棄物・・・材料ロス減
目標を達成するための取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・環境自主管理値の維持・・・達成 ・環境届出の義務・・・達成 ・省エネ活動の推進・・・達成 ・電力量の削減・・・未達 ・廃棄物処分の適正化・・・達成 ・3Rの推進：廃棄物・・・未達
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・環境自主管理値の維持・・・○ ・環境届出の義務・・・○ ・省エネ活動の推進・・・○ ・電力量の削減・・・投資を伴う取り組みをしないと達成出来ない ・廃棄物処分の適正化・・・○ ・3Rの推進：廃棄物・・・相変わらず不良、異常による材料ロスが発生している。
事業活動に係る法令の遵守の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・環境自主管理値の維持（大気、水質、騒音、福知山市届出済み） ・環境届出の義務（PRTR法届出済み）
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	目的・目標の実施計画の中間年度にあたることから基本的に方針、目的目標は継続する。昨年度は法順守は出来たが、省エネの取り組みは成果が出ていない。全社組織にて省エネ委員会を設置して思い切った取り組みを行う。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。